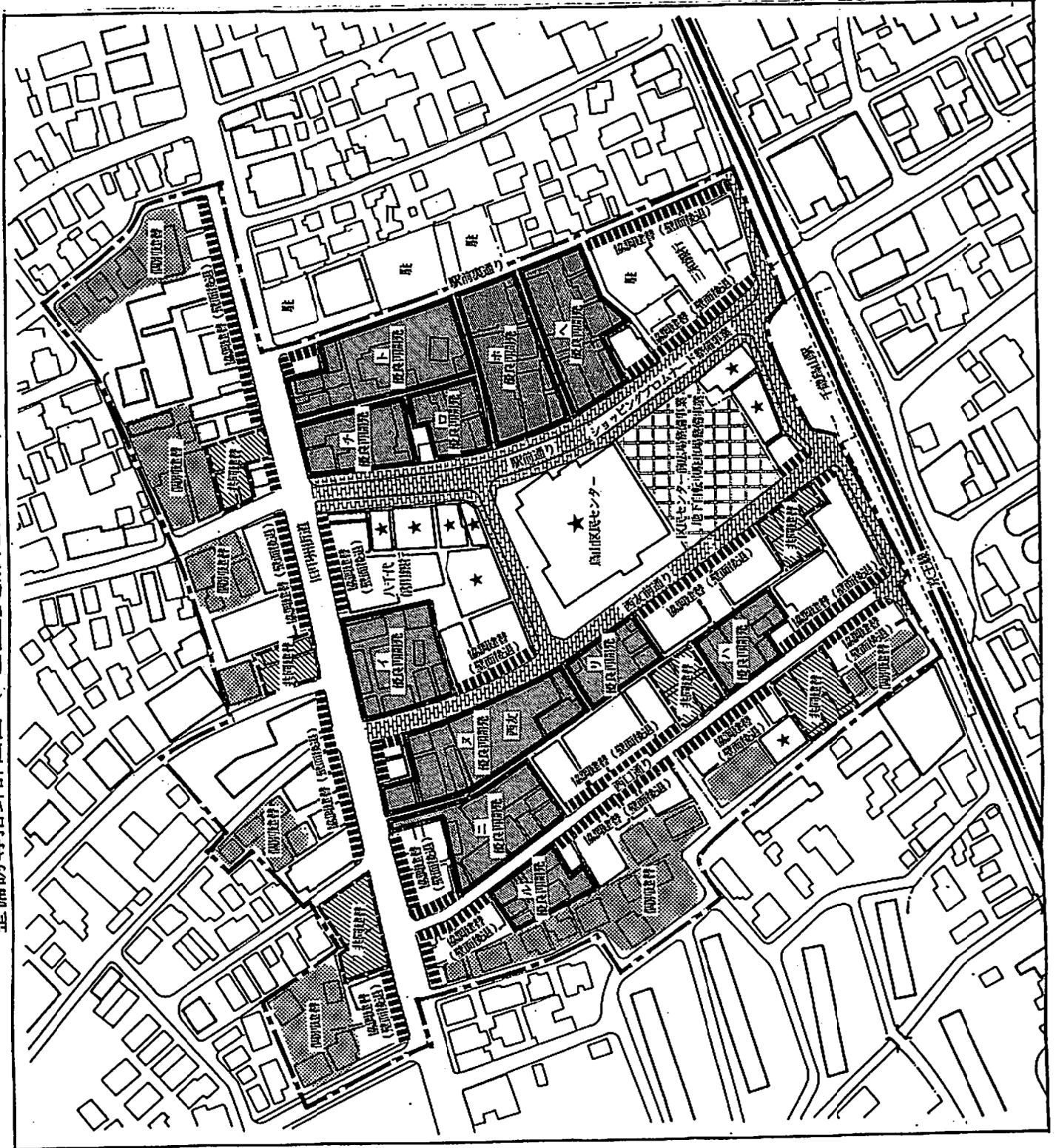
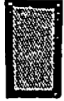


整備誘導指針計画図（地区更新計画図）



再開発事業（優良再開発）

- 再開発事業実施計画地区名  
 イ、南島山六丁目地区  
 ロ、南島山四丁目第1地区  
 ハ、南島山六丁目第2地区  
 ニ、南島山四丁目第1地区  
 ホ、南島山六丁目第3地区  
 ヘ、南島山四丁目第2地区  
 ト、南島山四丁目第4地区  
 チ、南島山四丁目第5地区  
 リ、南島山六丁目第2地区  
 ヌ、南島山六丁目第3地区  
 ル、南島山六丁目第3地区



計画内共同建替



協調建替（壁面後退）



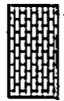
個別建替



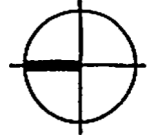
建替整備済み



ショッピングフロムナード整備事業



市民センター前広場整備事業  
 地下自転車駐車場整備事業

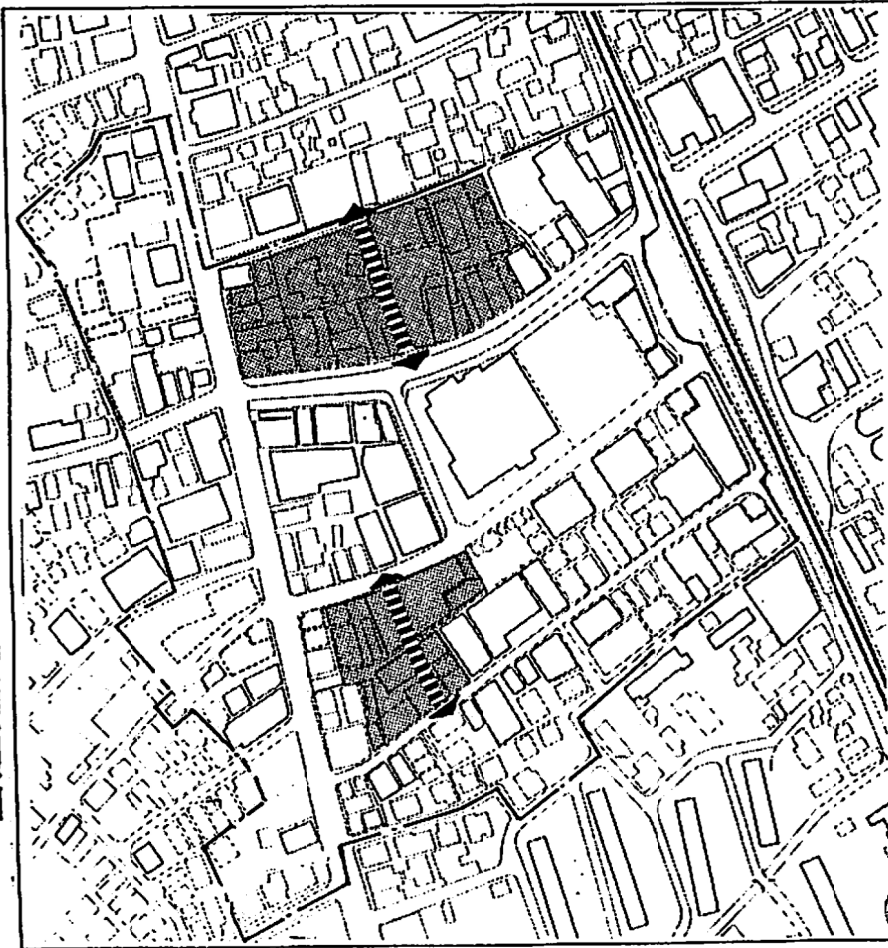


縮尺 1:1,500

参考図1  
壁面後退ガイドプラン

通りの位置	後退距離	適用部分	整備イメージ	考え方
駅前通り	1階部分後退=1m	東側のみ		<p>■現状で幅員1.2m(歩道あり)と広く幅員による容積率の低減の問題もなことから、商店街としての連担性をもった東側のみ1階部分の壁面後退による歩行者空間の充実を図る。(西側はすべて堅牢な建物となっている。)</p>
西友前通り	全面後退=1m	両側		<p>■現状は幅員6mと、歩道の分離も明確でなく、商店街としての一体性、連担性の向上を目的に全面後退を1mつつつを行い道路と一体となった歩行者空間を確保する。</p>
西口通り	全面後退=1m + 1階後退=1m	両側		<p>■現状は4mの幅員しかなく、進入車両等によって買物客の安全性、快適性が阻害され、災害時には消防活動等も困難である。従って、道路と一体となった空間確保のため、全面後退を1mつつつを行い、さらに歩行者空間の充実を図るため1階部分の壁面後退を1mつつ行う。</p>
駅前裏通り	全面後退=1m	西側		<p>■現状は4mの幅員しかなく、車両のすれ違いも困難である。(そのため一方通行になっている。)従って、壁面の全面後退を当路西側のみ1m行い、将来的な商業機能の充実に備えた歩行者空間等を確保する。</p>
旧甲州街道	-	両側	-	<p>■当該道路は都市計画道路が計画決定されていることから、建替え時にはこの壁面線まで壁面後退する。</p>

回遊通路ガイドプラン



回遊通路の整備方針

- ① 図に示すエリアにおいて少なくとも1本以上の東西方向の回遊通路を整備するものとし、このエリア内で建替をする場合は回遊通路整備の方策を講ずることとする。
- ② 空間タイプとしては、インナー通路形式およびオープン通路形式のいずれでも可とする。
- ③ 通路の幅員は2m以上とする。